

大手ゲーム会社から2名が着任 ゲームからプロダクトまでデザイン教育を強化

大阪電気通信大学（大阪府寝屋川市・四條畷市／学長：塩田邦成）は、2026年4月、大手ゲーム会社にて世界的ヒット製品や人気タイトルの制作に携わってきた杉野憲一教授と阿部 悟郎教授の2名を迎えました。

本学は2003年にデジタルゲーム学科を開設して以来、23年間にわたりゲーム教育のトップランナーとして歩んできました。今春、第一線で活躍してきたプロフェッショナルが教壇に立つことで、モノづくりからゲームの社会応用まで、より実践的かつ多角的な教育体制を構築し、次世代を担う人材育成を加速させます。



杉野 憲一 教授



阿部 悟郎 教授

【本件のポイント】

- 世界的な製品・タイトルを手掛けたプロが着任：世界的ヒットを記録した携帯ゲーム機のデザイナーと、独創的なゲーム制作を牽引したディレクターが教育現場へ転身
- 「ゲーム・社会デザイン専攻」による教育の深化：ゲームを社会課題解決の手段と捉える新専攻において、プロの知見を活かした「おもしろさの分析」や「実験的ゲームデザイン」の研究を推進
- 夏のオープンキャンパスで特別講演を実施

【プロフィール】

杉野 憲一教授／工学部電子機械工学科

大阪芸術大学デザイン学科インダストリアルデザイン専攻を卒業。

1989年4月、任天堂に入社。携帯ゲーム機の開発部門にてプロダクトデザイナーとしてキャリアをスタート。ゲームボーイカラーやゲームボーイアドバンスなど、世界的ヒットを記録した携帯ゲーム機のデザイン開発に携わる。その後はデザインディレクターとして、DSや3DSなどの開発を担当。製品作りに留まらず、プロダクトデザイナーの人材育成や採用活動にも深く関わる。

阿部 悟郎 教授／総合情報学部デジタルゲーム学科ゲーム・社会デザイン専攻

東京大学医学部健康科学・看護学科を卒業。

1999年4月に任天堂に入社。2003年に任天堂から発売された『メイド イン ワリオ』ではプログラマー・デザイナーとして参画し、その後のシリーズではディレクターを担当。全12作の制作に携わり、驚きを生むゲームづくりを牽引。新しいハード用に制作したタイトルでは、「最新技術の無駄づかい」をモットーに、ユニークなプチゲームを数多く生み出している。

【夏のオープンキャンパス特別講演開催概要】

日時：2026年7月12日（日）10時30分

場所：四條畷キャンパス

講演者：総合情報学部デジタルゲーム学科ゲーム・社会デザイン専攻 阿部 悟郎教授

講演テーマ：社会に溶けていくゲーム～日常を変える「遊び」の力

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

学校法人大阪電気通信大学 法人事務局 広報部広報課 担当：東

TEL：072-824-3325 FAX：072-824-1141 MAIL：kouhou@osakac.ac.jp

【関連リンク】

PROFESSOR NEW FACE

<https://www.osakac.ac.jp/special/newprofessor>

工学部電子機械工学科（ロボティクス）

<https://www.osakac.ac.jp/faculty/engineering/eme/>

総合情報学部デジタルゲーム学科ゲーム・社会デザイン専攻

<https://www.osakac.ac.jp/faculty/isa/gs/>

【大学概要】

大学名：大阪電気通信大学（学長：塩田邦成）

U R L： <https://www.osakac.ac.jp/>

所在地：寝屋川キャンパス 〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8

四條畷キャンパス 〒575-0063 大阪府四條畷市清滝1130-70

学 部：工学部、情報通信工学部、建築・デザイン学部、健康情報学部、総合情報学部

※2027年4月から工学部基礎理工学科環境化学専攻は応用化学専攻に名称変更

在籍者数：5,758名（2025年5月1日現在）

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

学校法人大阪電気通信大学 法人事務局 広報部広報課 担当：東

TEL：072-824-3325 FAX：072-824-1141 MAIL：kouhou@osakac.ac.jp